



平成21年10月26日

各 位

会 社 名 **T C M**株式会社
 代 表 者 名 執行役社長 荒畑 秀夫
 (コード番号 6374 東証・大証各1部)
 問 合 せ 先 経営企画室長 佐々木智彦
 (TEL.03-3591-8178)

当社の親会社 日立建機株式会社
 代 表 者 名 執行役社長 木川 理二郎
 (コード番号 6305)

当社の親会社 株式会社日立製作所
 代 表 者 名 執行役会長 川村 隆
 兼執行役社長
 (コード番号 6501)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月24日に開示した業績予想を以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

平成22年3月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 35,100	百万円 △1,240	百万円 △1,520	百万円 △2,530	円 銭 △24.03
今回修正予想 (B)	33,955	△1,800	△2,108	△2,784	△26.44
増減額 (B - A)	△1,145	△560	△588	△254	—
増減率 (%)	△3.3	—	—	—	—
(ご参考)前第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	74,550	1,298	727	71	0.67

平成22年3月期通期連結業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 88,100	百万円 390	百万円 0	百万円 △1,480	円 銭 △14.06
今回修正予想 (B)	76,200	△1,780	△2,340	△1,350	△12.82
増減額 (B - A)	△11,900	△2,170	△2,340	130	—
増減率 (%)	△13.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	124,674	△1,125	△2,331	△5,886	△55.83

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 21,900	百万円 △1,740	百万円 △200	百万円 △690	円 銭 △6.36
今回修正予想（B）	19,873	△1,871	△137	△431	△4.09
増減額（B－A）	△2,027	△131	63	259	－
増減率（％）	△9.3	－	－	－	－

平成22年3月期通期個別業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 59,100	百万円 △880	百万円 690	百万円 140	円 銭 1.33
今回修正予想（B）	47,700	△2,080	△590	500	4.75
増減額（B－A）	△11,400	△1,200	△1,280	360	－
増減率（％）	△19.3	－	－	257.1	－
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	95,430	△1,682	△2,091	△4,544	△43.09

修正理由

（1）連結

当第2四半期におきましては、米国の金融危機に端を発した世界同時不況の大きな影響を受けたものの、世界各国の景気刺激策や金融安定化策、企業各社の在庫調整などの効果により徐々にではありますが、景気回復に向けた動きが感じとられるようになってまいりました。しかしながら、明らかな回復傾向にある地域・業種は限定されており、当社の属する産業車両、建設車両業界では、国内外ともに依然厳しい状況で推移しております。特に欧州、米国、C I S向けのフォークリフト、ホイールローダ需要は当初計画を大幅に下回っており、そのため売上高の大幅な落ち込みをはじめ、利益につきましても下方修正せざるを得ない状況となったものです。

通期業績につきましても、下期には更なる構造改革を行い、業績回復、収益確保に努めてまいりますが、引き続き厳しい経済状況が続くと予想されることや、第2四半期累計期間の業績予想を勘案して、上記のとおり修正いたします。なお、当期利益予想に関しましては事業構造改革費用が発生するものの、企業体質改革の一環として当社が保有する株式の売却および遊休資産の売却等により増益を見込んでいます。

（2）個別

個別業績予想の修正につきましては、前述した連結同様の理由によるものであります。

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上